

マツバラシ

学名 *Psilotum nudum* (L.) Beauv.

目名

目名学名

科名 マツバラシ科

科名学名 Psilotaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：準(NT)



【選定理由】

宮城県から沖縄まで分布域をもつ。かつては県内に広く分布していたが、開発の影響を受けたり、園芸用に採取されることが多く、生育地が少なくなっている。

県内分布	中津・宇佐低地, 耶馬溪・国東丘陵地, 日田低地・丘陵地, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域
分布域	本州(宮城・石川県以南), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	韓国済州島, 中国南部, 世界の熱帯・亜熱帯
生育環境	低地や丘陵地の岩壁の割れ目や樹幹。希に地上に生える。
現状	岩面の掘削や吹付工事などにより消滅したり, 個体数が減少している生育地がある。
備考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 耶馬日田英彦山, 祖母傾]

ミズスギ

学名 *Lycopodium cernuum* L.

目名

目名学名

科名 ヒカゲノカズラ科

科名学名 Lycopodiaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



【選定理由】

匍匐茎により地上を長くはう。海岸近くのやや湿った向陽地や噴気孔周辺に生じる。本県では宅地開発や遷移進行などによる生育環境の悪化で、生育地の減少や消滅が懸念される。

県内分布	中津・宇佐低地, 九重火山群, 別府湾沿岸域, 豊後水道域
分布域	北海道東部, 本州(東北地方中部以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	世界の熱帯・亜熱帯
生育環境	沿海地・低地の日当たりのよい崖地や路傍, 噴気孔周辺。
現 状	かつては都市部にも生育地が多くあったが, 近年は郊外でも消滅した生育地が目立つようになった。
備 考	

ヒメスギラン

学名 *Lycopodium chinense* Christ

目名

目名学名

科名 ヒカゲノカズラ科

科名学名 Lycopodiaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



【選定理由】

北海道から九州に広く分布し、落葉樹林帯にやや希に生じる。本県では、遷移進行や自然林の伐採などによる生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	九重火山群, 由布・鶴見火山群, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国, ロシア東部, カナダ
生育環境	低山地のコケの生えた岩上や樹幹に着生。
現 状	現在生育が確認できるのは数か所である。
備 考	国立・国定公園指定植物 [阿蘇くじゅう, 祖母傾]

スギラン

学名 *Lycopodium cryptomerinum* Maxim.

目名

目名学名

科名 ヒカゲノカズラ科

科名学名 Lycopodiaceae

カテゴリ 大分県： I B (EN) 環境省： II (VU)



[選定理由]

北海道東部から屋久島にかけて希に分布する。本県での生育地は少なく、自然林の伐採や風水害などにより消滅した生育地が増えており、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	津江山地, 九重火山群, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	北海道東部, 本州, 四国, 九州 (福岡・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	韓国済州島, 台湾, インド
生育環境	低山地の自然林内の樹幹や岩上に着生。
現 状	県内における確実な生育地は数か所となっている。
備 考	

ヒモラン

学名 *Lycopodium sieboldii* Miq.

目名

目名学名

科名 ヒカゲノカズラ科

科名学名 Lycopodiaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: I B (EN)

NO IMAGE

【選定理由】

九州南部以外では極めて希に分布し、園芸用採取や森林伐採などにより絶滅の危機に瀕している。本県で自生を確認できた生育地は1か所だけで、絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, (玖珠丘陵地・山地)
分布域	本州(伊豆半島・東海道・紀伊半島・隠岐), 四国, 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	韓国済州島, 中国, 台湾
生育環境	丘陵地・低山地の林内の岩上や樹幹に着生。
現状	本県で自生を確認できる生育地は1か所だけである。玖珠丘陵地・山地の生育地は、風水害により消滅した。
備考	

シナミズニラ

学名 *Isoetes sinensis* Palmer

目名

目名学名

科名 ミズニラ科

科名学名 Isoetaceae

カテゴリー 大分県：ⅠA(CR) 環境省：Ⅱ(VU)



[選定理由]

本州の一部と九州に希に分布する。本県では県中・北部の池沼に生育している。池沼の改修や埋め立て、除草剤の流入等による水質汚染の影響を受け、絶滅の危険性が極めて高くなっている。

県内分布	中津・宇佐低地, 由布・鶴見火山群
分布域	本州(新潟), 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	中国揚子江流域
生育環境	低地や丘陵地の浅い池沼。
現状	ため池などの池沼に極めて希に生育している。
備考	

オオバシナミズニラ

学名 *Isoetes sinensis* Palmer var. *coreana* (Y.H.Chung & H.K.Choi) M.Takamiya,Mitsu, Watana. & K.Ono

目名

目名学名

科名 ミズニラ科

科名学名 Isoetaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：I B (EN)

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(由布・鶴見火山群)
分布域	本州(茨城・長野, 中国地方), 四国(愛媛・高知), 九州(福岡・大分・宮崎)
世界的分布	朝鮮半島
生育環境	丘陵地の浅い池沼。
現 状	1951年に別府市で採集された標本があるが, それ以降は確認されていない。
備 考	シナミズニラの6倍体変種。

ハマハナヤスリ

学名 *Ophioglossum thermale* Komarov

目名

目名学名

科名 ハナヤスリ科

科名学名 Ophioglossaceae

カテゴリー 大分県: IB(EN) 環境省: 掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

北海道から沖縄にかけてに希に分布する。本県では、自然海浜の埋め立てや道路工事等で消滅した生育地があり、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 大野川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・長崎・熊本・大分・鹿児島), 沖縄
世界的分布	シベリアから中国・台湾の東アジア, ミクロネシア
生育環境	沿海地のやや湿った砂地や芝生。
現状	本県では、芝生に生じていることが多い。現存する生育地は数か所だけとなっている。
備考	

ヒロハハナヤスリ

学名 *Ophioglossum vulgatum* L.

目名

目名学名

科名 ハナヤスリ科

科名学名 Ophioglossaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



[選定理由]

北海道から九州にかけて広く分布する。本県では、森林の伐採や草原の牧野化によって生育環境が悪くなった生育地がみられるようになった。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 別府湾沿岸域, 由布・鶴見火山群, 九重火山群, 豊後水道後背地域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	北半球の温帯
生育環境	丘陵地の林床や林縁, 竹林や野焼をした原野に群生する。
現 状	消滅した生育地もある。
備 考	

ナガホノナツノハナワラビ

学名 *Botrychium strictum* Underw.

目名

目名学名

科名 ハナヤスリ科

科名学名 Ophioglossaceae

カテゴリー 大分県：情報不足 (DD) 環境省：掲載なし

NO IMAGE

[選定理由]

県内分布	(英彦山・犬ヶ岳山地)
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (福岡・佐賀・熊本・大分)
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 北半球の温帯から暖帯
生育環境	山地の林内や林縁。
現 状	過去に英彦山・犬ヶ岳山地で採集された標本がある。1999年に同地域で自生が再確認されたが、以後生育は確認されていない。
備 考	

リュウビンタイ

学名 *Angiopteris lygodiifolia* Rosenst.

目名

目名学名

科名 リュウビンタイ科

科名学名 Marattiaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

亜熱帯性の大型シダ植物。本県では、1998年に県南部の照葉樹林内で初めて自生が確認された。生育地における個体数はわずかで、森林伐採や林道工事などにより絶滅の危険性が極めて高い。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(伊豆諸島・伊豆半島・東海地方・紀伊半島南部), 四国(徳島・高知), 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾
生育環境	沿海地の林内。
現 状	狭い範囲に10個体ほどが生育している。
備 考	

シロヤマゼンマイ

学名 *Osmunda banksiifolia* (Pr.) Kuhn

目名

目名学名

科名 ゼンマイ科

科名学名 Osmundaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



[選定理由]

静岡県以西の暖地に分布する常緑性の大型シダ植物。県内での生育地は2か所で、砂防ダム建設などによる生育環境の悪化で個体数が減少しており、絶滅の危機に瀕している。

県内分布	別府湾沿岸域, 豊後水道域
分布域	本州(静岡・和歌山), 四国南部, 九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	アジアの熱帯・亜熱帯
生育環境	低地の溪流近くの湿った崖地。
現状	生育地では, 生育環境の悪化により個体数が減少している。
備考	国定公園指定植物[日豊海岸]

カネコシダ

学名 *Gleichenia laevissima* Christ

目名

目名学名

科名 ウラジロ科

科名学名 *Gleicheniaceae*

カテゴリー 大分県：ⅠA(CR) 環境省：Ⅱ(VU)



[選定理由]

日本では九州だけに分布する。本県で生育が確認できる生育地は1か所だけで、砂防ダムの建設や風水害などにより生育地がかく乱され、絶滅寸前の状況にある。

県内分布	耶馬溪地区
分布域	九州(佐賀・長崎・熊本・大分・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, 中国, インドシナ, フィリピン
生育環境	丘陵地の溪流沿いの日当たりの良い斜面。
現状	生育面積や個体数が減少しており, 生育環境も悪化している。
備考	国定公園指定植物[耶馬日田英彦山]

ツルホラゴケ

学名 *Crepidomanes auriculatum* (Bl.) K.Iwats.

目名

目名学名

科名 コケシノブ科

科名学名 Hymenophyllaceae

カテゴリー 大分県: I A (CR) 環境省: 掲載なし



[選定理由]

紀伊半島以南からアジアの熱帯にかけて広く分布する。本県では、生育地・個体数ともに極めて少なく、森林伐採などにより絶滅の危機に頻している。

県内分布	耶馬溪地区, 豊後水道後背地域
分布域	本州(伊豆諸島, 和歌山・三重・島根・山口), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	インド, ミクロネシア, マレーシア
生育環境	低地の日当たりの悪い林内の樹幹に着生。
現状	極めて狭い範囲に, ごくわずかな個体が生育しているだけとなっている。
備考	

オオコケシノブ

学名 *Hymenophyllum badium* Hook. et Grev.

目名

目名学名

科名 コケシノブ科

科名学名 *Hymenophyllaceae*

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



【選定理由】

伊豆半島以西に希に分布する。空中湿度の高い常緑林内の岩上や樹幹に群生して生える。森林伐採や林道工事などにより消滅の危険性が高くなった生育地がある。

県内分布	津江山地, 豊後水道後背地域, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州(伊豆半島以西), 九州(熊本・大分・宮崎・鹿児島), 奄美大島
世界的分布	中国西部～マレーシア, インド
生育環境	丘陵地から山地の湿った岩上や樹幹に着生。
現状	個体数が減少したり, 消滅した生育地がみられる。
備考	オニコケシノブは異名として取り扱った。

コケシノブ

学名 *Hymenophyllum wrightii* van den Bosch

目名

目名学名

科名 コケシノブ科

科名学名 Hymenophyllaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



【選定理由】

温帯性のシダ植物で、九州では山地に希に分布する。本県での生育地も比較的標高の高い山地に限られる。自然林の伐採などにより生育環境の悪化が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 由布・鶴見火山群, 九重火山群, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州(福岡・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島, アムール, 千島, 樺太, カナダ
生育環境	山地林内の樹幹や岩上に着生。
現 状	火山山頂帯の自然林が減少し, 生育環境の悪化が目立つ生育地が増えている。
備 考	

オウレンシダ

学名 *Dennstaedtia wilfordii* (Moore) Christ

目名

目名学名

科名 コバノイシカグマ科

科名学名 Dennstaedtiaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



[選定理由]

温帯性のシダ植物で、九州での分布は希である。県内で確認されている生育地は1か所だけで、極めて狭い範囲にわずかな個体が群生しており、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	北川上流域
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎)
世界的分布	アムール, 朝鮮半島, 中国, インド
生育環境	丘陵地の風化した石灰岩地。
現 状	生育地での個体数は、自生が確認された当初の3分の1以下に減少している。
備 考	

オオフジシダ

学名 *Monachosorum flagellare* (Maxim. ex Makino) Hayata

目名

目名学名

科名 コバノイシカグマ科

科名学名 *Dennstaedtiaceae*

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



[選定理由]

関東地方以西から九州にかけての暖地に分布する。県内での生育地は限られており、個体数も少ない。森林伐採や砂防ダム建設などの影響により生育地の消滅が懸念される。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 津江山地, 北川上流域
分布域	本州(栃木, 中部地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国
生育環境	丘陵地の溪流沿いのやや暗い林内傾斜地。
現 状	以前は群生していた生育地でも、現在では点在する程度にまで個体数が減少している所がある。
備 考	

フジシダ

学名 *Monachosorum maximowiczii* (Bak.) Hayata

目名

目名学名

科名 コバノイシカグマ科

科名学名 *Dennstaedtiaceae*

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



【選定理由】

東北地方以西の暖地に分布し、林床に群生する。県内では、風水害などによる自然林の減少で生育環境の悪化した生育地がある。

県内分布	英彦山・犬ヶ岳山地, 由布・鶴見火山群, 九重火山群, 北川上流域
分布域	本州(福島, 関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	中国, 台湾
生育環境	山地の落葉樹林内の湿った岩上に群生。
現 状	由布・鶴見火山群, 九重火山群の生育地では生育状況も比較的良好で個体数も多いが, その他の地域では個体数が減少している。
備 考	国立・国定公園指定植物[阿蘇くじゅう, 祖母傾]

ハマホラシノブ

学名 *Sphenomeris biflora* (Kaulf.) Tagawa

目名

目名学名

科名 ホングウシダ科

科名学名 Lindsaeaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省：掲載なし



【選定理由】

関東地方以西の暖地に分布し、海浜の日当りのよい岸壁の割れ目などに生育する。県内での生育地は限られており、防波堤工事などにより絶滅の危険性が極めて高くなっている。

県内分布	豊後水道域
分布域	本州(関東地方南部・伊豆半島・紀伊半島)、四国南部、九州(長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)、沖縄
世界的分布	中国、台湾、フィリピン
生育環境	海岸近くの崖地。
現状	本県では、県南部の沿海地にわずかな個体の生育が確認されているだけである。
備考	国定公園指定植物[日豊海岸]

エダウチホングウシダ

学名 *Lindsaea chieni* Ching

目名

目名学名

科名 ホングウシダ科

科名学名 *Lindsaeaceae*

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU)

環境省：掲載なし



[選定理由]

本州南部以南の暖地に分布する常緑性の小型シダ植物。本県では生育地・個体数とも少なく、道路工事や宅地造成などにより生育地の消滅が危惧される。

県内分布	別府湾沿岸域, 豊後水道域, 豊後水道後背地域
分布域	本州南部(伊豆諸島・伊豆半島から東海地方・紀伊半島・山陽地方), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	台湾, 中国南部, インドシナ, タイ
生育環境	低地のやや湿った林内。
現 状	本県における生育地の多くが都市部周辺にあるため, 土地開発や道路工事などの影響により, 生育地や個体数が減少している。
備 考	

サイゴクホングウシダ

学名 *Lindsaea odorata* Roxb. var. *japonica* (Bak.) Kramer

目名

目名学名

科名 ホングウシダ科

科名学名 Lindsaeaceae

カテゴリー 大分県: I A(CR) 環境省: 掲載なし



【選定理由】

溪流沿いの岩上に生じる小型シダ植物。本県では生育地が限定されており、生育範囲も著しく狭い。風水害により個体数が激減し、絶滅の危険性が極めて高くなっている。

県内分布	耶馬溪地区
分布域	本州(八丈島・伊豆半島・紀伊半島), 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	韓国済州島, 台湾, 中国四川省
生育環境	丘陵地の溪流沿いの岩上に群生。
現状	自然災害の影響を受け, 群落や個体数が減少している。
備考	

ホウライクジャク

学名 *Adiantum capillus-junonis* Rupr.

目名

目名学名

科名 ホウライシダ科

科名学名 Parkeriaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省： I B (EN)



【選定理由】

日本では本県だけに自生する。生育地が人里に近く、生育環境も道路工事等の影響により悪化している。個体数も少なく、絶滅の危機に瀕している。

県内分布	石灰岩地域
分布域	九州(大分)
世界的分布	朝鮮半島, 中国, 台湾
生育環境	低地の風化した石灰岩地。
現状	道路拡幅工事後、個体数が著しく減少した。近年は、周辺で風化による崩落が進んでおり、生育地の狭小化が危惧される。保護はされているものの、ようやく生命活動を維持している状態である。
備考	市指定の天然記念物・指定希少野生動植物

オトメクジャク

学名 *Adiantum edgeworthii* Hook.

目名

目名学名

科名 ホウライシダ科

科名学名 Parkeriaceae

カテゴリー 大分県： I B (EN) 環境省： I B (EN)



【選定理由】

日本では本県だけで自生が確認されている。水田の畦畔や路傍の石垣などに生育するため、人為的な影響を受けやすく、個体数も減少しており、絶滅の危険性が高くなっている。

県内分布	耶馬溪地区, 別府湾沿岸域
分布域	九州(大分)
世界的分布	中国東北部からフィリピン, インド
生育環境	低地の水田の畦畔や道路法面の石垣。
現 状	県内の3か所で生育が確認されている。農地の基盤整備工事や管理放棄等で生育範囲が狭まっている。園芸的価値が高く、採取による個体数の減少もみられる。
備 考	県指定天然記念物「壘石のオトメクジャク」(宇佐市)・「内成・田代のオトメクジャク」(由布市)・指定希少野生動植物

ハコネシダ

学名 *Adiantum monochlamys* Eaton

目名

目名学名

科名 ホウライシダ科

科名学名 Parkeriaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：掲載なし



[選定理由]

北海道を除く日本各地に分布する。本県での分布は散在的で、個体数も少ない。道路工事や法面の吹付工事などで生育地が減少している。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 津江山地, 九重火山群, 別府湾沿岸域, 大分川・大野川丘陵地, 豊後水道後背地域, 大野川上流域, 祖母・傾山地, 北川上流域
分布域	本州, 四国, 九州 (福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島南部, 中国, 台湾,
生育環境	低地や丘陵地の岩上や岩隙。
現状	人里近くの生育地の多くが, 宅地造成や道路拡幅工事などで消滅している。
備考	

ミズワラビ

学名 *Ceratopteris thalictroides* (L.) Brongn.

目名

目名学名

科名 ホウライシダ科

科名学名 Parkeriaceae

カテゴリー 大分県：Ⅱ (VU) 環境省：掲載なし



【選定理由】

本州以西に分布する一年生の水生シダ植物。30年くらい前までは本県でも各地の水田に生育していたが、除草剤や土地改良工事などにより多くの生育地が消滅し、絶滅の危険性が高まりつつある。

県内分布	別府湾沿岸域, 豊後水道後背地域
分布域	本州(新潟, 関東地方以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	世界の熱帯・亜熱帯
生育環境	低地の水田や側溝。
現状	水田や湧水を伴う沼地など数か所で生育が確認されている。
備考	

ヒメウラジロ

学名 *Cheilanthes argentea* (Gmel.) Kunze

目名

目名学名

科名 ホウライシダ科

科名学名 Parkeriaceae

カテゴリー 大分県：準(NT) 環境省：Ⅱ(VU)



[選定理由]

東北地方以南に分布する小型シダ植物。園芸価値が高いため、人による採取が懸念される。県下に広く分布するが、道路工事や吹付工事などで消滅した生育地もある。

県内分布	耶馬溪・国東丘陵地, 姫島・国東海岸, 玖珠丘陵地・山地, 別府湾沿岸域, 豊後水道域, 豊後水道後背地域, 石灰岩地域, 大野川上流域
分布域	本州(岩手, 関東中部以西), 四国, 九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島), 沖縄
世界的分布	シベリアからマレーシア
生育環境	低地の日当たりのよい岩上や路傍の石垣。
現状	県内各地にやや希に分布するが、石灰岩地域には生育地が比較的多い。どの生育地も個体数が減少傾向にある。
備考	

エビガラシダ

学名 *Cheilanthes chusana* Hook.

目名

目名学名

科名 ホウライシダ科

科名学名 Parkeriaceae

カテゴリー 大分県：ⅠA(CR) 環境省：Ⅱ(VU)



【選定理由】

暖地性の常緑シダ植物で、和歌山県以南に希に分布する。本県では生育地・個体数ともに少なく、道路工事や吹き付け、農地改良工事などで生育範囲が狭められており、絶滅の危険性が極めて高くなっている。

県内分布	別府湾沿岸域，豊後水道後背地域，石灰岩地域
分布域	本州(和歌山・岡山・広島)，四国，九州(福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	朝鮮半島南部，中国，インドシナ
生育環境	低地の日当たりのよい石垣や道路の法面。
現 状	消滅した生育地もあり，現存する生育地でも個体数の減少が著しい。
備 考	

カラクサシダ

学名	Pleurosoriopsis makinoi (Maxim. ex Makino) Fomin	
目名		
目名学名		
科名	ホウライシダ科	
科名学名	Parkeriaceae	
カテゴリー	大分県：準(NT)	環境省：掲載なし



【選定理由】

日本各地に点在的に分布し、個体数も比較的少ない。本県での分布も限られており、自然林の伐採などで生育地が減少している。

県内分布	耶馬溪地区, 津江山地, 九重火山群, 大分川・大野川丘陵地, 祖母・傾山地
分布域	北海道, 本州, 四国, 九州 (福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島)
世界的分布	シベリア東部, 朝鮮半島, 中国
生育環境	丘陵地から山地の空中湿度の高い林内の岩上や樹幹にコケと混生する。
現状	自然林の伐採などで消滅した生育地がみられる。
備考	

タキミシダ

学名 *Antrophyum obovatum* Baker

目名

目名学名

科名 シシラン科

科名学名 Vittariaceae

カテゴリー 大分県： I A (CR) 環境省： I B (EN)



【選定理由】

北陸・関東地方以西に分布する。個体数が少なく、採集の対象となるため、たいていの生育地で絶滅が危惧されている。本県では過去に未確認情報もあったが、2006年に日田市で生育が確認され、以後さらに数カ所で生育が確認された。いずれの生育地でも個体数は1～数個体と少なく、生育環境が悪化すれば消滅の危険性が高い。

県内分布	耶馬溪地区, 英彦山・犬ヶ岳山地, 日田低地・丘陵地
分布域	本州(新潟・千葉県以西), 四国, 九州
世界的分布	台湾, 中国からインドシナ, マレーシア
生育環境	低地や丘陵地の溪流沿いの湿った岩上に着生。
現 状	いずれの生育地でも, 1～数個体が生育しているだけである。ソーラスをつけた個体は極めて少ない。
備 考	